

3F-1

AI手法を応用した対話形受講計画生成システムの試作

山田 真也 ・ 羽賀 隆洋

(愛知工業大学)

1. はじめに

大学の学生にとつては、1つ々のメインのテーマを1週間受講する計画を各年の方す、前・後学シス生に立各々微妙に受講する。各生用したる、現方につて、報告す。

2. システム概要

① 本講義の種目、② 学生の計画を完了し、③ 満ち、④ この原因、⑤ システムは、⑥ 下の名目、⑦ 必要、⑧ 順序、⑨ 処理、⑩ 行、⑪ マ、⑫ と、⑬ の、⑭ て、⑮ 講、⑯ の、⑰ 週、⑱ 間、⑲ 受、⑳ 講、㉑ 計、㉒ 画、㉓ を、㉔ 各、㉕ 年、㉖ の、㉗ 方、㉘ す、㉙ る、㉚ 。

3. システムの実現

上記2.の考案によるシステムの実現に当っては、特に、以下の項目の考慮、実現方法が重要である。(1) 制約、(2) 回避、(3) 処理、(4) 基本、(5) 部分、(6) 計画、(7) 生成、(8) 単位、(9) 数、(10) 目、(11) 節、(12) 点、(13) 未、(14) 定、(15) 力、(16) 所、(17) 確、(18) 定、(19) 節、(20) 点、(21) 生、(22) 成、(23) し、(24) ない、(25) 例、(26) え、(27) せ、(28) ば、(29) 前、(30) 記、(31) け、(32) お、(33) け、(34) ず、(35) 開、(36) 標、(37) 必、(38) 要、(39) 節、(40) 点、(41) 可、(42) 能、(43) だ、(44) う、(45) か、(46) よ、(47) り、(48) 判、(49) 断、(50) 推、(51) 論、(52) の、(53) 高、(54) シ、(55) テ、(56) ム、(57) 側、(58) か、(59) け、(60) る、(61) 必、(62) 要、(63) が、(64) 生、(65) じ、(66) う、(67) よ、(68) う、(69) 。

A Trial Q-A System Applying AI-Techniques to Make Lecture-Plans

Shinya YAMADA and Takahiro HAGA

Aichi Institute of Technology

